

守山まるごと活性化 議事要旨

作成者: 坂田

事業名: 令和元年度 まるごと活性化 ホタルプロジェクト 館外研修

日時: 令和元年6月21日(金)午前9時00分から午後12時30分まで

場所: 滋賀県大津市伊香立町 粋に生きよう会

出席者: 委員4名+他PJ3名+事務局2名

研修内容

<大津市伊香立「粋に生きよう会」 代表 河合 吉清さん講義>

(講義)

- ・「粋に生きよう会」は、高齢者と若者の減少がすすむ伊香立学区において、住んで良かったと思う街づくりと、生き生きと活気に満ちた地域づくりに貢献することを目的としている。
- ・粋に生きよう会は、規約を作成しており、明確な目的、事業内容等を明記している。その事業内容の中の一つに、「ホタルが飛ぶ自然環境の維持と拡大」を掲げている。
- ・昭和60年頃に河川改修等によって昔から生息してきたホタルがいなくなったため、以前の豊かな自然を取り戻したいという考えから発足した。
- ・ホタルについて勉強するため、守山のホタルの森資料館へ行き、そこでもらった冊子が教科書になっている。
- ・ホタルを生息させるため、現状を把握することから始めた。当時の生息数は数匹であった。これにより、生息できない環境ではないことがわかり、より生息しやすい環境を整備するため、以下の①から③を取りくんだ。
 - ①堤防の草は7月中旬まで刈り取らない。
 - ②エサとなるカワニナを7月以降に川に放流する。
 - ③川の底さらいをしない。
- ・現在では、毎年70から80匹程度が飛び交い、シーズン中には200人から300人程度のホタル鑑賞者がいる。
- ・ホタル観賞会も実施し、参加者も多かった。
- ・ホタル保護のため、町内で協力して取り組んでいる。
 - 町内の理解があるため、活動はしやすいとのこと。
 - ホタルの出る時期のホタルの出る時間帯は、一部街灯を消すことに対し地域住民から許可を得ている。この街灯ひとつを消すことで、ホタルにとって環境のいい空間を作っている。
 - ・伊香立町のホタルは、6月上旬から飛び始めるとのこと。
 - ・ホタルの保護の取り組みとしては、上で書いた①～③のことしかしていない。
 - 取り組みを始める前は数匹だったため、生息できない環境ではないことがわかったので住める環境を整えることで自然に増加していくのではないかと考え、実験的に実施した。
 - ・実施から7年経過した頃から増加し、今では毎年80匹程度が飛翔している。

